

政策シート 政策名 04 地域の文化遺産の継承

予算費目名 01 文化財費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後) ◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

政策の柱 (10年後) ◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

- ・市内に所在する文化財の保護活用を推進する。
- ・浜松市の歴史文化の魅力を掘り起こしてまちづくりに活かす。
- ・浜松地域遺産を継続し、市民協働による地域の文化創造につなぐ。
- ・さまざまな文化財を公開活用することにより、文化交流を促進する。
- ・広域連携により文化財ボランティアの人材育成と継続的な活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市	②生産・消費	③気候変動	④教育	⑤陸上資源	⑥水・衛生	⑧成長・雇用
-----	--------	-------	-----	-------	-------	--------

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	266,160	445,709	304,861	228,272	179,570	302,482
決算	251,205	265,603	261,817	186,416	147,182	259,990
人件費(報酬等)(A)	110	6,886	5,057	5,993	4,850	5,188
人件費(人工分)(B)	93,400	110,200	112,200	109,400	109,400	107,200
年間経費(決算+A+B)	344,715	382,689	379,074	301,809	261,432	372,378

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
年間所管文化財施設の全入館者数	人	目標	17,300	17,600	18,000	14,400	18,400	18,600
		実績	16,680	10,726	13,269	15,102	16,954	14,424
市民協働によるシンポジウム、講座、見学会等の延べ開催件数(文化財保存活用地域計画の策定を契機として)	件	目標	—	—	20	40	60	80
		実績	—	—	15	31	49	57
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

- ・文化財の顕彰制度を多重化し、保護顕彰活動を推進した。
- ・さまざまな文化財を公開活用することにより、文化交流を促進した。
- ・地域文化に根差した市民により個性ある文化創造活動を推進した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

- ・認定文化財は制度導入6年間で市内の幅広い地域の文化財を顕彰できた。
- ・無形民俗文化財の発信や後継者育成に取り組んだ。
- ・浜松市地域遺産センターでは地域の特色ある文化遺産を紹介するとともに、歴史文化に興味をもってもらったための様々な普及啓発事業を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	文化財調査顕彰事業	○	○		21,341	8,093	1.9			0.1	
2	文化財保護継承事業	-	○		64,518	48,930	2.9				148
3	文化財施設公開事業	○	○		55,572	64,065	0.4			0.2	1,638
4	文化財活用地域連携事業	○	○		101,761	89,796	2.7	0.3		0.1	
5	埋蔵文化財調査事業	○	○		122,174	87,605	3.7	0.7		6.0	3,402
6	文化財デジタル運営経費	-	-		3,004	1,946	0.2				
7	文化財運営経費(一般諸経費のみ)	-	-		4,008	2,047	0.2			0.6	
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					372,378	302,482	12.0	1.0		7.0	5,188

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 文化財調査顕彰事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市内の文化財の調査を行うとともに、広く市民に情報発信することで、文化財の保護・顕彰を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	
		⑮陸上資源			
事業とゴールの 関連性		・文化財に関する講座や現地見学会を通じ、市民の皆様へ生涯学習の機会を提供する。 ・文化財の指定制度や市独自の認定制度を通じ、文化遺産・自然遺産、自然生態系・生息地の保護・保全に努める。 ・文化財の顕彰を通じ、地方の文化振興につながる持続可能な観光業を促進する。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,811	1,381	1,377	1,388	3,499	8,093
	決算	1,232	1,310	1,319	1,285	3,359	7,761
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,232	1,310	1,319	1,285	3,359	7,761
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,500	12,300	13,620	12,220	13,340	13,580
人工	正規	1.1	1.5	1.7	1.5	1.5	1.9
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1	0.1	0.5	0.1
年間経費(決算+A+B)		10,732	13,610	14,939	13,505	16,699	21,341

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
国・県・市の指定・登録文化財の延べ件数 (件)		目標	510	513	516	519	522	525
		実績	510	511	526	526	527	529
浜松地域遺産認定延べ件数(件)		目標	260	330	490	520	550	580
		実績	308	455	545	659	740	757
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	04	01	000632000	01	文化財課	平田 隆	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・国・県・市指定文化財等の保存状況等の調査
- ・新指定候補物件についての情報収集、調査等
- ・浜松地域遺産認定制度(認定文化財)による歴史文化資源の顕彰
- ・秋葉信仰関連文化財群の調査



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・指定文化財、遺跡等の保存状況等調査
- ・新規指定候補等物件の調査
- ・浜松地域遺産認定件数(82件)
- ・秋葉信仰関連文化財群の調査

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・文化財保護法改正案の閣議決定(2021.2.5)
- ・無形文化財及び無形民俗文化財の登録制度の創設



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

しずおか遺産の認定を受けた秋葉信仰関連文化財調査については、特に一部調査や報告会を市民協働で行うよう努めた

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・文化財の調査は文化財課業務の根幹をなすものであり、新規の指定候補文化財の調査や未指定文化財の掘り起こしに引き続き取り組んでいく。特にしずおか遺産の認定を受けた秋葉信仰関連文化財の調査を進める。
- ・2016年度から開始した浜松地域遺産認定制度について、2024年度までに757件を認定することができた。今後は、認定から指定への昇格も検討し、制度の活性化や文化財の保護を図る。

事業シート (事業名) 02 文化財保護継承事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

適切な維持管理により、貴重な地域資源である文化財を良好な状態で保護保存するとともに、見学者等の安全確保、利便性の向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1959	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	
		⑮陸上資源			
事業とゴールの関連性		・指定文化財の修理・保存に対する助成を行い、文化遺産・自然遺産を保護・保全する。 ・史跡等の周辺環境を整備することで、自然生態系・生息地を保護・保全する。 また、看板の整備等により観光業の促進を図る。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	58,424	70,302	53,866	50,608	37,626	48,930
	決算	67,850	66,077	52,040	46,939	29,449	44,070
	国・県支出	3,577	3,000	1,417			
	市債						
	その他	321	364	364	139	93	83
	一般財源	63,952	62,713	50,259	46,800	29,356	43,987
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)		110	195	195	154	158	148
人件費(人工分)(B)		19,300	23,820	24,520	23,840	20,480	20,300
人工	正規	2.5	3.3	3.4	3.2	2.6	2.9
	再任用(31h)	0.5	0.2	0.2	0.4	0.4	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.3	
年間経費(決算+A+B)		87,260	90,092	76,755	70,933	50,087	64,518

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
文化財保存活用地域計画策定の進捗率と次期計画の策定準備(%)		目標	30	90	100	5	10	15
		実績	30	90	100	5	10	15
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	04	01	000632000	02	文化財課	平田 隆	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜松市文化財保護審議会の運営
- ・史跡等の草刈り、危険木伐採等の文化財環境整備の実施
- ・指定文化財修理・保存事業、無形民俗文化財伝承活動等に対する補助金の交付
- ・文化財保存活用地域計画の進捗管理・事業評価、次期計画策定準備



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・文化財保護審議会の開催(3回)
- ・文化財看板の整備・修繕(4件)
- ・文化財保存・見学環境の整備・修繕(77件)
- ・指定文化財修理・保存事業、無形民俗文化財伝承活動等に対する補助金の交付(27件)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き保護事業の計画段階から、文化財が所在する区の文化財担当に関わってもらい地元との調整や周知について効率化を図るほか、適切なタイミングで速やかに外部専門家の知見を仰ぐことで事業実施の効率化や市担当者の状況把握の効率化、さらには他の保護事業にも役立つような知識の向上につながるよう努めた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・史跡周辺の宅地化の進行や、近年の気象の変化(台風、ゲリラ雷雨の増加)に伴い、雑草、倒木等に対する要望、苦情が増加しているため、適切な環境整備を指導する。
- ・国認定を受けた「浜松市文化財保存活用地域計画」に従い、重点事業を中心に計画的に事業が進められるよう、関係課と連携し、進捗管理を行う。

事業シート (事業名) 03 文化財施設公開事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化財関係施設を適切に維持・管理するとともに、広く公開することで市民文化の向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1996	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性		・文化財施設を適切に維持管理し、文化遺産を保護・保全する。 ・施設の公開を通じて市民の皆様には生涯学習の機会を提供するとともに、持続可能な観光業を促進する。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	56,629	106,090	102,010	55,145	41,732	64,065
	決算	53,967	44,148	83,809	41,903	39,294	50,574
	国・県支出	2,843		22,918			
	市債						1,900
	その他	175	110	192	277	253	249
	一般財源	50,949	44,038	60,699	41,626	39,041	48,425
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)			1,475	1,385	1,463	1,499	1,638
人件費(人工分)(B)		2,120	2,820	2,660	2,660	3,360	3,360
人工	正規	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
	再任用(31h)	0.2	0.2				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.2	0.2	0.2
年間経費(決算+A+B)		56,087	48,443	87,854	46,026	44,153	55,572

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
所管文化財施設の全入館者数(人/年)		目標	17,300	17,600	18,000	14,400	18,400	18,600
		実績	16,680	10,726	13,250	15,088	16,954	14,424
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	04	01	000632000	03	文化財課	平田 隆	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・市指定文化財・舞坂宿脇本陣維持管理事業
- ・国重要文化財・中村家住宅維持管理事業
- ・国重要文化財・鈴木家住宅維持管理事業
- ・賀茂真淵記念館維持管理事業 <<指定管理>>
- ・国登録文化財・田代家住宅維持管理事業
- ・内山真龍資料館維持管理事業



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

各施設入館者数(数字は2022実績→2023実績→2024実績)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| ・舞坂宿脇本陣: 3,812人→ 4,700人→ 4,289人 | ・中村家住宅 : 2,603人→ 2,506人→ 1,988人 |
| ・鈴木家住宅 : 279人→ 296人→ 335人 | ・賀茂真淵記念館: 5,474人→ 6,063人→ 5,242人 |
| ・田代家住宅 : 2,104人→ 2,583人→ 1,075人 | ・内山真龍資料館: 830人→ 806人→ 1,495人 |
| ・合計 : 15,102人→ 16,954人→ 14,424人 | |



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設管理受託者、指定管理者と連携して広報活動や施設修繕を実施し、入館者数の増加に努めた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 施設の老朽化に伴い、各公開施設の計画的な保存修理を行う必要がある。

事業シート (事業名) 04 文化財活用地域連携事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域住民、NPO、民俗芸能保存団体等と連携し、文化財を適切に保護するとともに活用を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑭海洋資源	⑮陸上資源	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	
事業とゴールの 関連性		・浜松海岸のアカウミガメとその産卵地(市指定天然記念物)の保護に努める。 ・大規模災害時における文化財の減災・復旧体制を強化し、文化遺産及び自然遺産を保護・保全する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	17,348	50,757	37,059	58,032	39,242	89,796
	決算	14,210	42,448	30,387	48,816	35,352	81,501
	国・県支出	1,237	15,970	4,675	11,345	962	1,897
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	12,973	26,478	25,712	37,471	34,390	79,604
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,120	13,000	14,320	14,300	19,720	20,260
人工	正規	1.2	1.6	1.8	1.9	2.4	2.7
	再任用(31h)	0.2	0.5	0.4	0.2	0.5	0.3
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1	0.1	0.4	0.1
年間経費(決算+A+B)		23,330	55,448	44,707	63,116	55,072	101,761

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
文化財サポーター登録者数累計(人)		目標	-	-	-	100	150	200
		実績	-	-	-	126	159	184
「全国地芝居公演会」開催に向けた工程進捗率(%)		目標	計画策定	10	20	50	100	-
		実績	開催調整	10	10	50	-	-
無形民俗文化財保護団体連絡会が芸能、祭礼等を伝承する次世代の延べ人数(人)		目標	50	100	150	200	620	720
		実績	90	137	234	520	946	1486
二俣城跡及び鳥羽山城跡の整備事業進捗率(%)		目標	計画策定	20	40	60	80	100
		実績	策定	20	40	60	70	75
各区協議会、まちづくり協議会等地域団体との延べ会合数(件)		目標	5	7	10	12	14	15
		実績	6	7	10	12	12	14

(管理番号)

2024年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 04 01 000632000 04 文化財課 平田 隆 2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・アカウミガメ保護事業:アカウミガメとその産卵地保護事業及び啓発事業の実施
- ・浜松市文化財サポーター向け情報発信と講座・見学会等の実施
- ・無形民俗文化財活性化事業:無形民俗文化財の次世代継承活動、無形民俗文化財保護団体との協働による民俗芸能の顕彰及び情報の発信、民俗芸能大会激励金の交付
- ・史跡整備活用事業:戦国時代の城郭群等を本市の歴史・文化資源として活用するための、見学環境の整備や今後の整備工事に必要な調査の実施。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・アカウミガメ保護事業:NPOとの連携により産卵地保護事業及び親子を対象とした啓発事業を実施した。
- ・浜松市文化財サポーター向けにメールによる情報発信と文化財救済ボランティア講座等を実施した。
- ・無形民俗文化財活性化事業:保護団体や大学との協働により、民俗芸能の次世代継承活動を行った。
- ・史跡整備活用事業:二俣城跡及び鳥羽山城跡の整備工事実施設計に必要な箇所の詳細測量調査を引き続き実施したほか、植生整備基本計画に基づき、遺構保護及び眺望確保のための樹木伐採等の植生整備を実施した。また、入野古墳安全対策工事のための測量・地質調査を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の影響により活動休止、規模縮小した期間中に、さらに活動が衰えた保存会が存在している。(無形民俗文化財活性化事業)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和4年度に実施・作成した基本設計、植生整備基本計画の内容及び文化庁からの指導内容を踏まえ、実現可能な工程の検討をした。
- ・無形民俗文化財保護団体との協働による民俗芸能の顕彰及び情報の発信を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・二俣城跡及び鳥羽山城跡については、策定した整備基本計画及び基本設計に従い、庁内関係各課と連携して整備事業を進めるとともに整備に必要な各種調査を行う。また、策定済みの植生整備基本計画に従い、遺構保護及び眺望確保のための樹木伐採等の植生整備を引き続き優先して実施する。
- ・無形民俗文化財については、保存団体や地域と連携し、一層の活用と次世代への継承を図っていく。教育委員会との連携をより深めていく。
- ・浜松城跡については、石垣調査を進めるとともに、保存活用計画策定をする。

事業シート (事業名) 05 埋蔵文化財調査事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- ◆埋蔵文化財包蔵地の照会と指導を適切に進め、発掘情報を公開する。
- ◆民間開発にかかる緊急発掘の調整を適切に進める。
- ◆出土品の保管と公開のため、しかるべき施設を確保する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1955	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市埋蔵文化財保護事務に関する規則

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	
事業とゴールの 関連性		市民共有の財産である埋蔵文化財の調査成果を積極的に活用し、学校教育及び生涯学習の機会を広く設ける。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	129,152	215,556	108,297	59,372	54,328	87,605
	決算	112,311	111,143	92,572	44,876	37,708	73,552
	国・県支出	1,312	1,295	1,666	1,948	1,750	1,599
	市債						31,000
	その他	79,035	85,256	63,341	11,468	1,191	539
	一般財源	31,964	24,592	27,565	31,460	34,767	40,414
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)			5,216	3,477	4,376	3,193	3,402
人件費(人工分)(B)		49,100	54,000	52,600	51,200	48,020	45,220
人工	正規	3.7	4.0	3.4	3.6	3.7	3.7
	再任用(31h)	1.0	1.0	1.0	1.0	0.7	0.7
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	7.0	8.0	9.0	8.0	7.0	6.0
年間経費(決算+A+B)		161,411	170,359	148,649	100,452	88,921	122,174

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
埋蔵文化財照会件数(件/年)		目標	5,500	5,600	5,800	6,000	6,250	6,500
		実績	6,084	6,336	6,654	6,130	6,249	6,508
地域遺産センター入館者数累計(人)		目標	115,000	121,000	125,000	130,000	135,000	140,000
		実績	119,029	123,258	127,230	133,073	140,464	146,844
「全国文化財総覧」(報告書検索閲覧サイト)への登録図書数累計(件)		目標	-	100	110	120	130	140
		実績	92	117	128	132	137	141
浜松城跡(元城小跡地)の発掘調査の進捗率(%)		目標	25	50	75	100	-	-
		実績	25	50	75	100	-	-
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	04	01	000632000	05	文化財課	平田 隆	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①埋蔵文化財発掘調査事業
 ・埋蔵文化財包蔵地の有無や範囲を確認するための試掘調査や範囲確認調査を実施し、その成果を報告書にまとめ、その内容を広く周知するとともに、公開活用を図った。
- ②埋蔵文化財本発掘調査事業
 ・埋蔵文化財発掘調査は教育委員会(文化財課が補助執行)の業務(文化財保護法第99条)として行う。実施にあたっては民間調査組織を活用した。
- ③遺跡出土品等情報公開・活用事業
 ・遺跡や出土品に関し、調査により明らかになった歴史情報を多用な手段により積極的に公開・活用した。
- ④地域遺産センター維持管理事業
 ・①～③の事業及び文化財の保存・活用事業を実施するための拠点となる浜松市地域遺産センターを運営した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

住宅建設など、民間の開発行為に伴う埋蔵文化財の取扱いについての周知が行き届き、年間の埋蔵文化財照会件数をはじめ、試掘確認調査数、開発に伴う届出、通知件数(文化財保護法第93・94条)などが、近年増加傾向である。重要な調査成果も数多く、発掘調査現場や出土品等の情報公開に係る市民の関心や期待も高まっている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 照会業務の手続きや、調査報告書作成などの定型化・分業化により、増加する業務量に対応した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 埋蔵文化財調査作業や照会・調整業務の増大に伴い、業務量の増加が見込まれる。大規模な本発掘調査については、業務委託によって対応する。

事業シート (事業名) 06 文化財デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

◆文化財の調査・保存・継承や、被災等の不測の事態から文化財を復旧するため、文化財の情報をデジタル化して保存・管理を行う。
◆デジタル化した文化財情報の公開活用を図るため、文化財情報を編集しコンテンツ化するための環境を整える。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育							
事業とゴールの関連性	市民共有の財産である文化財について、デジタルデータを積極的に作成し、学校教育及び生涯学習に広く活用する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,187	2,316	1,650	1,946
	決算			1,096	1,841	1,368	1,604
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			1,096	1,841	1,368	1,604
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	1,400	1,400	1,400
人工	正規			0.1	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)				1,796	3,241	2,768	3,004

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
文化財のデジタルデータを用いたコンテンツの公開数(累計)		目標	-	-	構築	1	2	3
		実績	-	-	構築	1	2	3
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	04	01	000632000	06	文化財課	平田 隆	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

【埋蔵文化財発掘調査記録の保存・管理・継承事業】

- ・デジタルデータ化された発掘調査記録を高精度な状態を維持したまま未来に伝えるため、適切な保存・管理・継承を図った。
- ・三次元データ作成のための機器及びソフトウェアの導入を行い、発掘調査現場における記録作成に活用した。

【文化財情報の公開・活用事業】

- ・地域遺産センターにおける展示(企画展「はままつ文化財速報展2024」、「浜名湖北岸の古墳時代」)・刊行物(令和5年度浜松市文化財年報ほか)の作成を行った。
- ・イベント情報を広く周知するため、ポスター・チラシの作成を行った。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・埋蔵文化財発掘調査記録の保存・管理(M-DISCによる)
- ・公開事業「はままつ文化財速報展2024」来館者910人、「浜名湖北岸の古墳時代」来館者3,482人
- ・文化財関連動画の市公式HPでの公開
- ・令和5年度浜松市文化財年報の刊行
- ・文化財関連イベント等のポスター・チラシの作成
- ・構築した環境は、埋蔵文化財の調査記録保存と管理を重点を置いたものであるため、文化財全般をカバーするための環境の構築が必要

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・近年のデジタル技術の革新は著しく、今後より最適な環境整備が開発される可能性がある。
- ・『埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について3』(報告) 2020年文化庁
- ・デジタル技術導入における先進事例(自治体・専門機関)の情報について注視する。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

文化財情報について適切な保存・管理がなされるとともに、広く市民に周知が図られ、文化財への理解が深まった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民ニーズの高まりに合わせて、様々なデジタルコンテンツを用いた公開を進める(三次元モデルの公開)
- ・デジタル化が進行する中で今後、永年保管すべきデータ量の増加が見込まれることから、最適な保管方法や環境について随時検討を行う必要がある。

事業シート

(事業名) 07 文化財運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

文化財課の一般事務に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	・効果的に文化財を保存活用するために、公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進する。
----------------	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,796	1,623	1,065	1,411	1,493	2,047
	決算	1,635	477	594	756	652	928
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,635	477	594	756	652	928
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,260	4,260	3,780	3,780	3,080	3,080
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
	再任用(31h)	0.6	0.6				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.6	0.6	0.6	0.6
年間経費(決算+A+B)		5,895	4,737	4,374	4,536	3,732	4,008

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工
文化財課の一般事務に要する経費をまとめたものであり、現状維持とした。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工
文化財課の一般事務に要する経費をまとめたものであり、現状維持とする。